

科目名		<h1>免疫学実習</h1>	
科目責任者	長 田 良 雄	(免疫学・寄生虫学 教授)	
担当者	吉 田 安 宏	(免疫学・寄生虫学 准教授)	
開講時期:	2～4年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 90 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>免疫学演習で得た手技・手法を用い、生体内における免疫反応を修飾したモデルマウスなどを用いることで、より詳細な生体免疫反応について解析する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) アレルギーモデルマウスを作製できる。</li> <li>2) 担ガンマウスを作製し、種々の抗ガン剤の作用を検討できる。</li> <li>3) 炎症惹起マウスを作製できる。</li> <li>4) モデルマウスの特徴を、適当な検査方法で解析できる。</li> <li>5) モデルマウスにおける検査結果の意義を理解できる。</li> <li>6) モデルマウスにおける検査結果から生じた問題点に対し、次の実験計画を設定できる。</li> <li>7) 検査結果から立てた作業仮説を証明するためのモデルマウスの構築ができる。</li> <li>8) 一連の実験結果から新たな研究テーマの設定ができる。</li> <li>9) 研究テーマについて平易な言葉で紹介できる。</li> </ol>			
● 評価方法	知識修得30%、技術的習熟40%、研究計画作成能力30%等で総合評価する。		
● 参考文献	実習の中で必要に応じ紹介する。		